



障害のある方々の豊かな地域生活を支援する

全国特別支援教育推進連盟理事長・東洋大学名誉教授 宮崎 英憲

フードコミュニティ目黒(FC目黒)は、「障害者も健常者同様地域で自立し、社会参加の促進を図る。一人ひとりの能力を最大限に伸ばし、地域で優秀な障害者事業所を目指す。」を基本理念として設立されて以来15年。主に食品事業(米創庵)を通じて、目黒区を拠点として積極的に障害者の就労支援活動を展開されてこられました。また、特別支援学校生徒の就業体験実習等にも力を注がれてきたこと等。これまでのご尽力に敬意を表するとともに感謝の念を深くするものです。

FC目黒の就労継続支援B型事業では、食品事業(米創庵)が中心と伺っていますが、お弁当・山菜おこわ・赤飯・お萩の販売・配達・清掃等を中心としてスタッフの皆さんが仕事に携わり、ご自身の課題を見出しステップアップされ一般就労への扉を切り開いてこられました。現在の就労移行支援事業や就労定着支援事業への発展、さらには生活基盤を整えるためのグループホーム事業への展開を図っておられるとのこと。

厚生労働省の障害者に対する就労支援施策資料では、平成30年3月現在の就労系障害者福祉サービス利用者は、就労移行支援約3.3万人、就労継続支援B型約24.0万人で、このサービス利用者の一般就労移行が3割超となったとのこと。平成15年を1とした時、平成29年では、11.5倍にまで伸びているようです。こうしたことを追い風に、更に障害者のある方々の豊かな地域生活支援の充実にご尽力賜ることを願っております。

現況報告

フードコミュニティ目黒 理事長 渥美 昭美

フードコミュニティ目黒ではグループホーム(FC目黒ハウス)も半年が過ぎ利用者の方々は大いぶ落ち着いた生活しているように感じられます。

就労移行支援事業(移行)は昨年9月に1名が就労し、現在順調に働いています。その他の就労した方々も状況に応じた就労定着支援を行うことで、全員が働き続けています。

就労継続支援B型(B型)の方は7時間、移行の方は8時間をFC目黒で過ごしています。それぞれで朝礼を行った後、外に出て40分間しっかり体を動かして、ストレッチやジョギングを行っています。

その後、作業室ではB型の方を中心に受注作業のお菓子の袋折りや箱折り、ケアタグの糸通しや車の部品入れ等を納期を目指して頑張っています。一方、厨房・廊下では移行の方を中心に自主製品の弁当の配達の準備をします。10時30分頃には、訓練の一環として目黒区役所や企業等に車で配達に行きます。昼食、休憩後は30分間の『学習』をし、午後の作業に移ります。厨房では移行の方が中心に翌日の仕込みや食洗器、床やシンクの清掃等の訓練をします。B型の方は午後3時30分まで作業室で作業し、全部の部屋を毎日15分間清掃して帰ります。

このように、FC目黒での様々な活動を通して移行の方もB型の方も一人ひとりがそれぞれの目標に向かい順調に伸びているように思います。

今後ともFC目黒にご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

グループホームでの生活

FC目黒ハウス 施設長 高橋 國士

グループホームが開所して早いもので6か月が過ぎました。あっという間に過ぎていったという印象です。

最初の頃は親から離れて生活することの不安を見せていた利用者もいました。それが今では、6名全員がのびのびと自分のペースで生活しています。ホームでは、日常生活全般の行動をスタッフが見守りながらできないところをお手伝いしています。

利用者が安心して生活ができるように日頃からきめ細かい声かけに心がけ、信頼されるようスタッフは寄り添って支援しています。

利用者の平日の生活は、日中福祉的就労の場として働く施設へ通い、夕方にホームに帰ってきます。生活リズムとしては一般に働きに出かける人たちと変わりませんが、働く時間はフルタイムで働く人たちよりは少ない時間を過ごしています。

グループホームが始まったころは、週末は自宅に戻り週初めにホームに帰ってくる利用者の方が多かったのですが、ホームの生活に慣れるに従い、今では土日、祝日もホームで過ごす方が増えてきました。

グループホームは、福祉施設として利用者みなさんの命を守る責任があります。いつ起きるかわからない大地震や火災に備えて、みんなと一緒に避難できるよう防災訓練も行なっています。

お楽しみ企画としては、利用者の誕生日には、利用者みなさんで椅子取りゲームやトランプなどをやって楽しみ、デコレーションケーキを食べて誕生日のお祝いをしました。その他、クリスマス会、節分の豆まきといった季節ごとのイベントも楽しく行っています。



クリスマス会

ケーキを食べてみんなで誕生日を祝おう

節分の豆まき

6か月過ぎたグループホームの生活を利用者みなさんはどのように捉えているのでしょうか。

=楽しいことは何ですか？またこれからの希望は何ですか？=

『部屋でパソコンやゲームをしたり本を読むことです。これからも部屋で自分の時間を持ちたい』

『みんなと楽しい話をしたり、楽しく過ごせているのがいいです。これからはもっとやせていきたい』

『誕生会が楽しい。自分の誕生会を楽しみにしています』

『チョコレートを食べたい。これからも塗り絵をしたい』

『みんなと話したり、リビングでみんなと過ごしているのが楽しい。元気になったら休みの日は散歩してコーヒーを飲みたい』

『誕生会、避難訓練が楽しかった。これからもバランスボールに乗って絵本を読み、夕食前にリビングで過ごしたい』

グループホームで、一人の時間を楽しむ人、仲間と一緒にいることが楽しい人、イベントを楽しみにしている人等々それぞれにグループホームで自分の楽しみを見つけられています。今後も利用者に寄り添いながら、これからの自分の人生を豊かに有意義に過ごせるような支援を一層工夫していきたいと考えます。

振り返って

フードコミュニティ目黒 施設長 吉塚 晋

フードコミュニティ目黒の利用者は、毎日5日間休まず作業をしており高い工賃をもらっています。休日サービス提供、スマプラフェスタ、一泊研修は利用者が大いにリフレッシュできる楽しみの行事です。

休日サービス提供

今年度は年間予定していた8回の休日サービス提供に加えて、特別に誘っていただいた知的障がい者のチャリティーとして開催された『初夢コンサート』に行きました。本格的なオーケストラの演奏に、皆さん熱心に聴き入り心とむひと時でした。

一泊研修（9月）

今回は、那須方面へ。貸し切りバスに揺られ、バスの中では皆さんの大好きなカラオケで盛り上がりました。那須ガーデンアウトレットでのショッピング、藤城清治美術館鑑賞、那須りんどう湖レイクビューに行き、二日間仲間と一緒に楽しく交流を深めました。

スマプラフェスタわっしょい&防災訓練（11月）

今年はスマイルプラザの9施設と保育園、奉優会目黒中央の家を加えた11事業所と目黒消防署と合同で、規模を拡大し開催しました。来場者1000人以上と多くの方にお越しいただきました。今回は特に地域の方々との繋がりが一層深まったお祭りでした。

今年度の皆様の温かいご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。



AED体験

第三者評価を受けて

令和元年度、フードコミュニティ目黒では福祉サービス第三者評価を受審しました。全体の評価・講評をお知らせします。

◆特に良いと思う点

- ・ コミュニケーション力を磨き地域生活に活かせるように日々取り組んでいる
- ・ 毎朝事業者横の敷地や運動場を使い体操やジョギングを行うことで体力増進や良好な生活リズムの維持に繋がっている
- ・ 仕事は責任を持って分担してもらう事で受注先からの信頼もあり、区内一番の工賃を達成している

◆さらなる改善が望まれる点

- ・ HPの内容の拡充やSNSの活用により、事業所の先進的支援の紹介等で現状の定員割れの是正に向けた広報活動の一層の努力が期待される
- ・ 「作業マニュアル」と「事故防止及び緊急対応マニュアル」が整備され職員の手引書になっているが、定期的な見直しが期待される
- ・ 虐待防止に必要な措置を講ずるとしているが、虐待防止マニュアル・規定の整備及び具体的取り組み方についての仕組み作りが期待される

※詳しくは『とうきょう福祉ナビゲーション』福祉サービス第三者評価をご覧ください。

URL: <http://www.hukunavi.or.jp/hukunavi/>

上記のことを受け、今後改善に向けて取り組んでいきます。

令和2年度

賛助会員募集

★会費は、団体：年額 10,000円 個人：年額 3,000円

★ぜひ、ご協力のほどお願いいたします。

* 振込先 * 郵便振替口座 00140-9-706649 特定非営利活動法人フードコミュニティ目黒

毎日『学習』しています

FC目黒では、作業が忙しい時以外は、毎日30分程度学習をしています。最初の5分程度は、手首をブラブラ振ったり、腕や首のストレッチをしたり等体をほぐします。その後、言語訓練を約10分間、言語療法の先生の指導を受け、顎関節の運動や、口の中や唇周辺の筋肉をつけるための発声練習ををしています。残りの15分間は、読み書きと計算を隔日で行っています。読み書きは、読み物教材を声を出して輪読し、その後それを視写します。また、色々な絵を見てそれを使って作文して発表したりもします。計算は、ごく簡単な足し算引き算掛け算のドリルを解いています。

■利用者の皆さんは、この学習をどう思っているか聞いてみました。

- [みんなと言語をやるのが好き] [滑舌が良くなった]
- [絵を見て作文を作るのが好き] [読むのが好き]
- [書き取りでは、字をきれいに書くよう頑張っている]
- [計算を解くのが好き] [計算で丸をもらってうれしい]
- [配達の時のお金の計算が上手く出来るようになった]
- [頭が良くなる]……

この『学習』は、利用者の働く力を育てるためのFC目黒の基本方針の一つに掲げていて、開所当初から行っています。『運動』と並んで、FC目黒の特長でもあります。学習を通して、「記憶力・理解力・状況判断力を高める」ことが目標です。学校教育を終え卒業後は、知的学習の機会がぐんと減りますが、FC目黒では、毎日『学習』に取り組むことによって、今持っている力を持続していきたいと考えています。中には、卒業した時より、計算する力や読む力、書く力がついてきている人もいます。発音が良くなってきている人もいます。何より嬉しいことは、利用者の皆さんがこの学習を楽しみにして取り組んでいることです。

この取り組みが、利用者の働く力を支えていると考え、今後も利用者の皆さんと毎日『学習』をやっていきたいと思えます。



* イベント・サークル・会議等にお作り致しますので、お気軽にご相談くださいませ。

■ご注文・お問い合わせ
電話03-5768-0707
(9:00~17:00/土日祝休み)

安心・安全の厳選素材が自慢です！

宮城県産の環境保全米(減農薬)「ひとめぼれ」100%を使用。主菜は、肉または魚をメインに和洋折衷バラエティ豊か。すべて手作りしております。

白米弁当 / 670円
赤飯弁当 & 山菜おこわ弁当 / 各770円
(宮城県産こがね餅米100%使用)



赤飯
グラムにより300~400円



山菜おこわ



お萩(5個入り)
450円

※価格はすべて内税となっております